ALLwatch Tips

2016 年 2 月号
オムロンソフトウェア株式会社

バックナンバーは M2M センサネットへのログイン後に「取扱説明書」ボタンで表示する画面から参照ください。
「ALLwatch」は弊社が提供するモニタサービスの総称です。

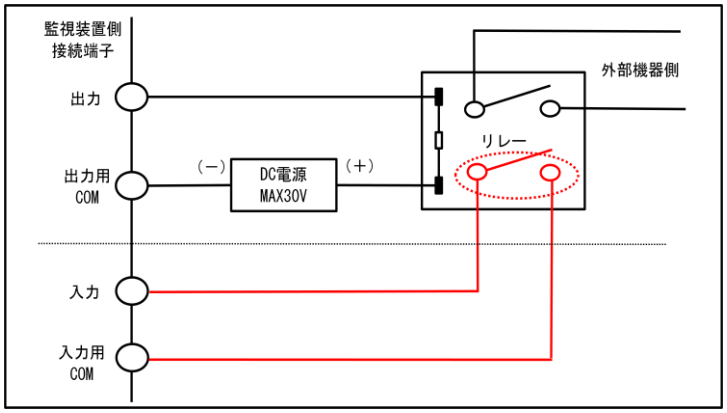
「DO 出力」の動作を「メール」で受け取る方法

弊社の遠隔監視装置「SW150PF/PFK・TW900F」は、DO 出力の機能を備えており、M2M センター画面から手動で実行する「DO 出力指示」と、警報発生時に監視装置に実行させる「警報時 DO 出力設定」の二通りの利用方法があります。

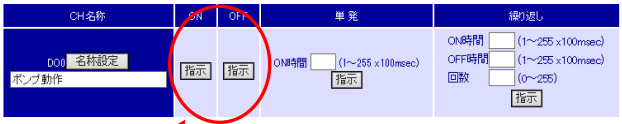
監視装置は、DO 出力の実行を M2M センターへ通知する仕組みとなっていないため、そのままでは、DO 出力が実際に実行されたのか、いつ実行されたのかを知ることができません。

そこで、下図のように、複数接点のリレーを使用して、リレー開閉部の空極を監視装置の DI 入力へ接続し、リレー開閉部の動作に合わせて DI 入力が ON/OFF されるようにすることで、DO 出力によるリレー開閉部の動作を汎用入力メールとして受け取れます。

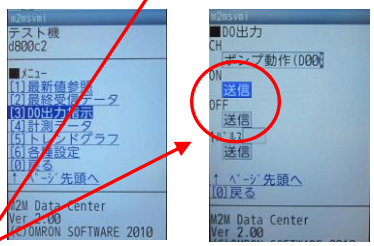
【接続図】



【DO 出力指示画面（ブラウザ）】



【DO 出力指示画面（携帯）】



※ON 操作実行後は、必ず OFF 操作も実行ください。OFF 操作実行まで DO 出力は ON になっており、この状態で ON 操作を行ってもメールは届きません(ON のまま)。OFF 操作実行メールも受け取りたい場合は、汎用入力警報設定で OFF 通知も使用にしてください。

また、汎用入力メールとして受け取っていますので、動作履歴を「通報一覧」や「計測データ」画面で確認が可能です。

【通報一覧画面】

【計測データ画面】

計測日時	テスト機 d800c2	
	ポンプ動作	状態
02/18 19:43:48	ポンプON	電波強度3 DI00:警報発生
02/18 19:42:01	ポンプON	電波強度3 DI00:警報発生
02/18 19:40:38	ポンプON	電波強度3 DI00:警報発生

尚、本機能のご利用には、以下の注意点がございます。

・**「デマンド監視サービス」**をご契約の場合、汎用入力メールの機能をご利用いただくためには、**「接点入力利用」のオプション契約**をお申込みいただく必要があります。（無料通報枠　100 通報/月）

・**「デマンドライトサービス」**をご契約の場合、汎用入力メールの機能をご利用いただくためには、**「デマンドライト DI/PI オプション」**のオプション契約をお申込みいただく必要があります。（無料通報枠　50 通報/月）

・**汎用入力警報設定**の「判定時間」は、**「DO 出力時間」＞「判定時間」**となるように設定してください。

・「判定時間」は**短くなりすぎないよう**に設定ください。**ノイズの多い場所**では、ノイズか接点動作かの判別がつかなくなり、**誤動作**を起こす恐れがあります。このような場所で判定時間を短くして使用する場合は、配線に**シールド付ツイストペア電線又は網組シールド線を使用**して、シールドを**監視装置側で接地する**など**ノイズ対策**をしてください。

誤動作でも通報はセンターに送られますので課金の対象になります。

・M2M センター画面からの「DO 出力指示」で**「単発」**をご利用いただく際に、**ON 時間に「1（100ms）」**を指定すると、「ON 判定時間」を**「0（100ms）」**に設定しても **ON 判定されません。**ON 時間は**「2（200ms）」以上**をご指定ください。

・DI 入力からメール受信までの時間は、電波状態やメール受信環境により異なり、**時間がかかる場合**があります。

【汎用入力警報設定画面】

CH名称	使用	ON通知 使用／状態名称	OFF通知 使用／状態名称	ON判定時間 (秒/0=100ミリ秒)	OFF判定時間 (秒/0=100ミリ秒)	判定保留時間 (秒)
ポンプ動作(DI00)	☑	☑ ポンプON	☐	1	1	60

※デマンド警報時の DO 出力など、頻繁に実行される DO 出力にご利用されますと、従量課金が発生する可能性が高くなります。